2025年度　第2四半期（中間期）決算説明資料

2025年8月8日
SBSホールディングス株式会社（東証プライム市場：2384）



Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

01 2025年度第2四半期（中間期） 連結業績概要
02 2025年度 連結業績予想
03 SBSグループの成長戦略
04 Appendix

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

01 2025年度第2四半期（中間期） 連結業績概要
02 2025年度 連結業績予想
03 SBSグループの成長戦略
04 Appendix

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

2025年度 第2四半期（中間期） 連結業績

- 売上高は、物流事業における新規顧客の獲得や料金適正化の進展等による売上高増加が寄与、不動産事業における流動化実施規模の差による売上高減少を吸収し、増収
- 営業利益は、物流事業における増益効果あるも、不動産事業における流動化実施規模の差により減益

（単位：百万円）

	24/2Q累	25/2Q累	増減額	増減率
売上高	221,739	228,539	+6,799	(+3.1%)
営業利益	10,958	6,389	△4,568	(△41.7%)
経常利益	11,385	6,364	△5,021	(△44.1%)
親会社株主に帰属する中間純利益	6,456	2,760	△3,695	(△57.2%)
一株当たり中間純利益(EPS)	162.56 円	69.50 円	△93.06 円	(△57.2%)

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

セグメント別業績

【物流事業】
- 新規顧客の獲得や料金適正化の進展等により増収
  新拠点開設の立ち上げ費用の先行あるも、新規・既存顧客拡大等の増収効果等により増益

【不動産事業】
- 不動産流動化の規模差により減収減益

（単位：百万円）

セグメント		24/2Q累	25/2Q累	増減額	増減率	増減内容
売上高	物流	204,897	221,142	+16,245	(+7.9%)	
	不動産	12,213	2,390	△9,823	(△80.4%)	不動産流動化実施額 減少（△9,769）
	その他	4,628	5,006	+378	(+8.2%)	マーケティング事業・人材事業 増収
	合計	221,739	228,539	+6,799	(+3.1%)	
営業利益	物流	4,476	4,858	+381	(+8.5%)	
	不動産	6,158	1,480	△4,677	(△76.0%)	不動産流動化実施額 減少（△4,745）
	その他	178	260	+81	(+45.8%)	マーケティング事業・人材事業 増益
	調整額	144	△209	△353	–	
	合計	10,958	6,389	△4,568	(△41.7%)	
	利益率	4.9%	2.8%			

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

主要グループ会社別業績

- SBS東芝ロジ　：家電・医療等の物量増加に加え、前年稼働した新規事業所の収支改善および料金適正化の進展などにより増収増益
- SBSリコーロジ　：オフィス用品通販が堅調に推移、新規顧客獲得も進展し増収となるも、精密機器等の物量減少、新規事業所開設コストの先行により減益

（単位：百万円）

		24/2Q累	25/2Q累	増減額	増減率	増減内容
SBS東芝ロジスティクスグループ	売上高	56,986	62,125	+5,139	(+9.0%)	・家電・医療等物量増
	営業利益	1,425	2,432	+1,007	(+70.7%)	・前年開設事業所の改善、料金適正化
SBSリコーロジスティクスグループ	売上高	50,691	52,880	+2,188	(+4.3%)	・新規顧客獲得等
	営業利益	1,873	1,534	△338	(△18.1%)	・新規事業所開設コスト増
SBSロジコムグループ	売上高	36,492	36,977	+485	(+1.3%)	・既存顧客拡大等
	営業利益	2,965	2,613	△352	(△11.9%)	・一部顧客物量減、空き坪増加 新規事業所開設コスト増
3社 合計	売上高	144,170	151,983	+7,813	(+5.4%)	
	営業利益	6,264	6,580	+315	(+5.0%)	
その他 計	売上高	77,569	76,556	△1,013	(△1.3%)	・不動産流動化減収（△9,769） 新規連結効果（+8,233）
	営業利益	4,694	△190	△4,884	(△104.1%)	・不動産流動化減益（△4,745）
連結業績 計	売上高	221,739	228,539	+6,799	(+3.1%)	
	営業利益	10,958	6,389	△4,568	(△41.7%)	

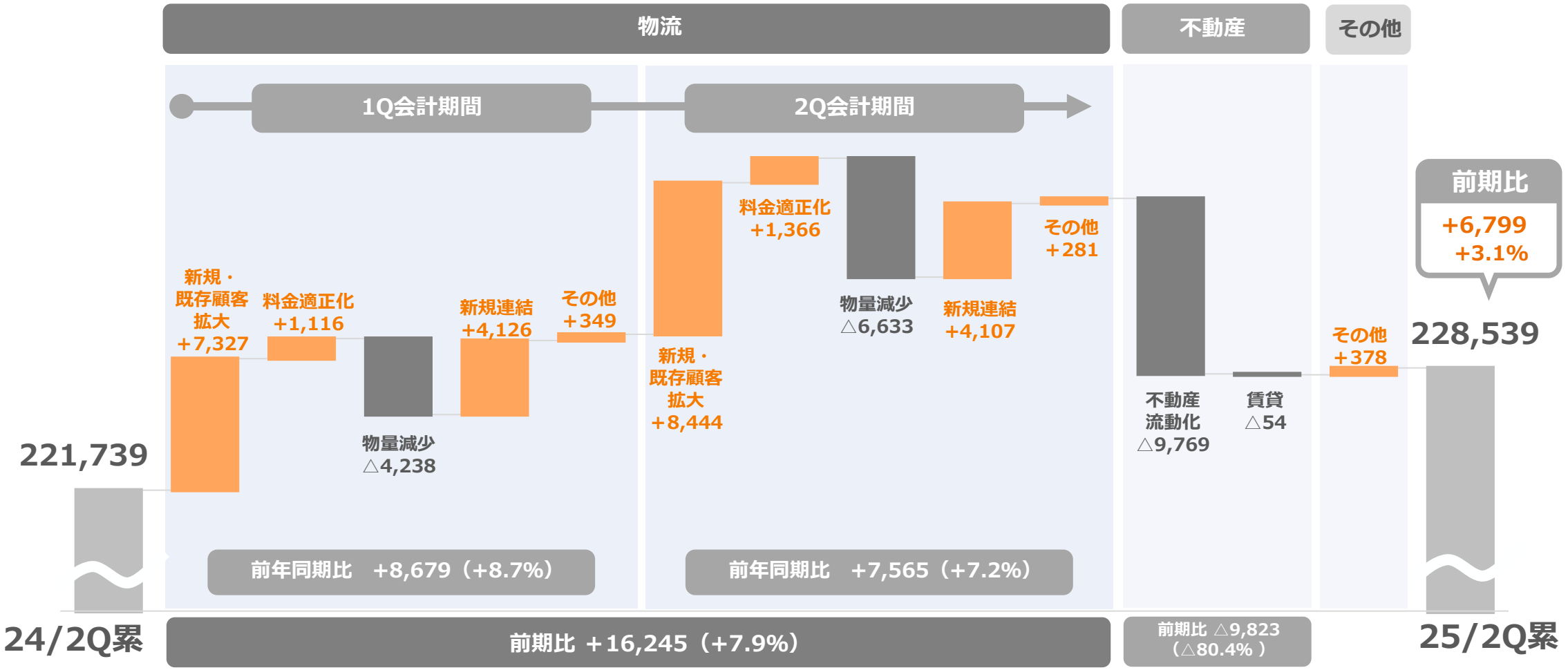
※1　数値は、社内管理ベース
※2　SBSロジコムグループは不動産流動化数値を除く

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

セグメント別売上高 増減要因

（単位：百万円）

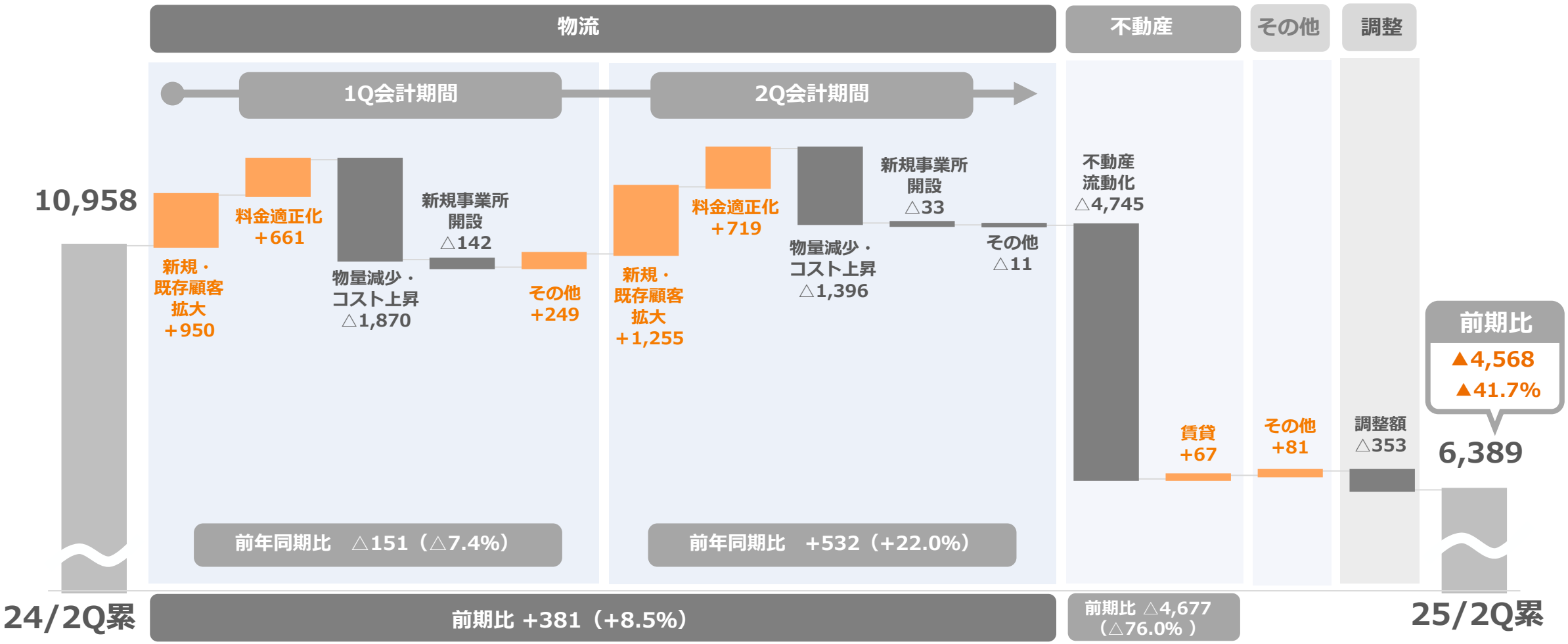


Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

セグメント別営業利益 増減要因

（単位：百万円）

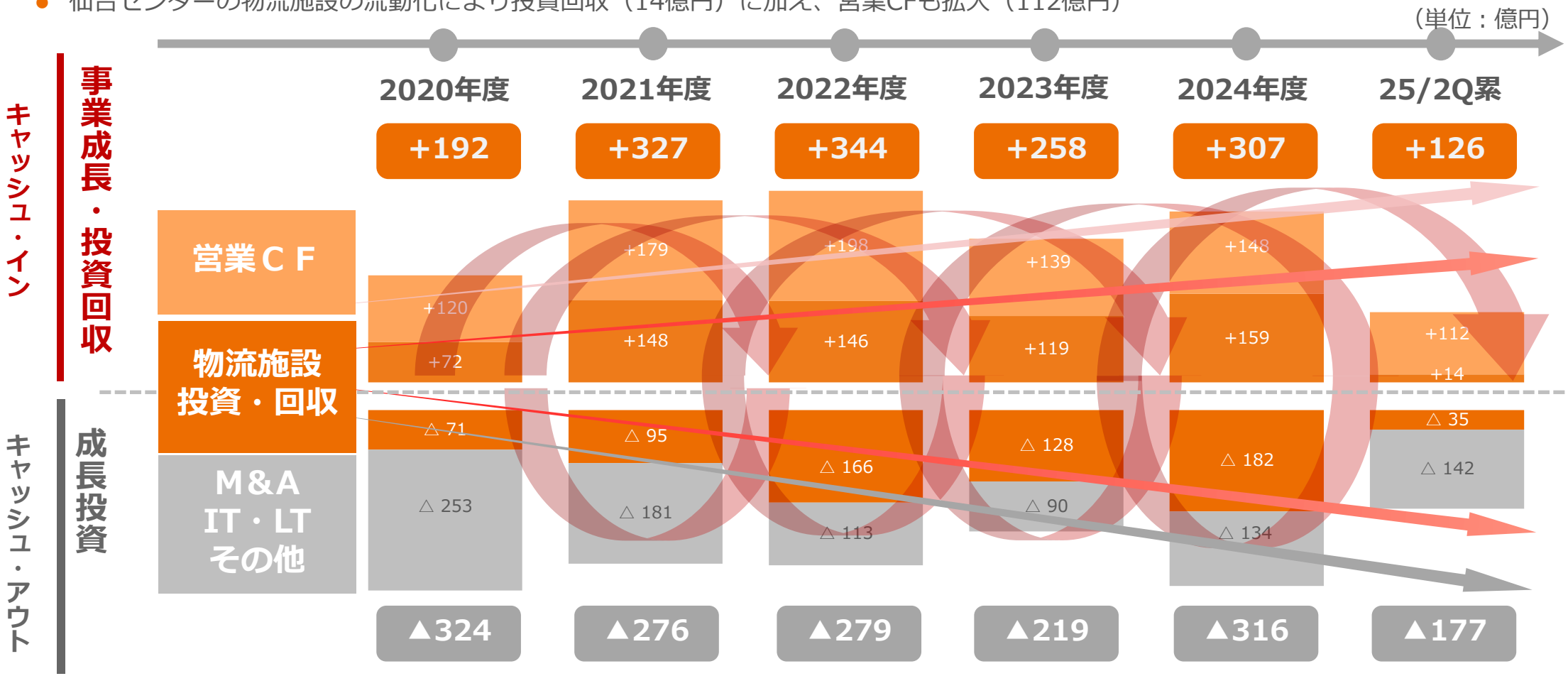


Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

キャッシュ・フロー創出

- M&A・物流施設拡張によりキャッシュ・フロー創出力拡大。
- 2025年2Q累は箕面・那須等の倉庫用地取得に加え、M&A投資も実施し、積極的な投資を継続（177億円）
- 仙台センターの物流施設の流動化により投資回収（14億円）に加え、営業CFも拡大（112億円）

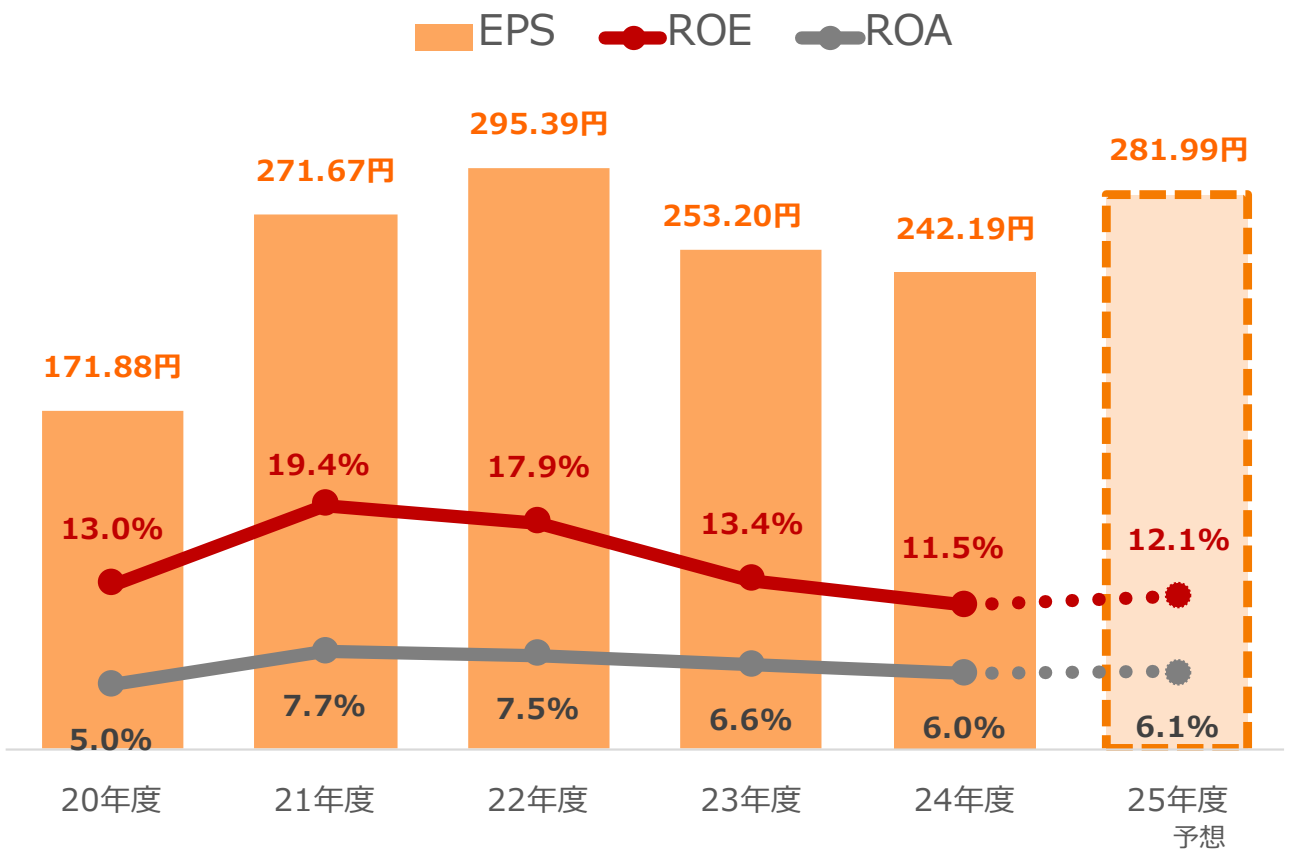


フリーキャッシュ・フローを「営業CF（※1）」・「物流施設 投資・回収」・「M&A IT・LT その他」へ区分しております。
※1　営業CFに含まれている不動産（棚卸資産）の投資・回収は除いております。

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

EPS・ROE・ROA推移



Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

01 2025年度第2四半期（中間期） 連結業績概要

02 2025年度 連結業績予想

03 SBSグループの成長戦略

04 Appendix

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

25年度(2025年12月期) 連結業績予想

- 通期業績予想は当初公表時から変更なし

（単位：百万円）

	実績	予想		
	24年度	25年度	増減額	増減率
売上高	448,145	485,000	+36,854	(+8.2%)
営業利益	17,704	20,500	+2,795	(+15.8%)
経常利益	18,463	20,100	+1,636	(+8.9%)
親会社株主に帰属する当期純利益	9,619	11,200	+1,580	(+16.4%)
一株当たり当期純利益(EPS)	242.19 円	281.99 円	+39.80 円	(+16.4%)

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

01 2025年度第2四半期（中間期） 連結業績概要
02 2025年度 連結業績予想
03 SBSグループの成長戦略
04 Appendix

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

2025年度重点施策：成長戦略 × 構造改革

成　長　戦　略

主力3事業

- 3PL
- 国際
- EC

M&A戦略（含むPMI）

- ブリヂストン物流
- SBSNSKロジ
- ブラックバード（蘭）

×

構　造　改　革

4KPIを軸にPDCAサイクル推進

- 不採算拠点・事業の撲滅
- 倉庫空き坪の解消
- 人員構成の最適化
- 料金適正化の取り組み強化

- 物流事業を中心とした高成長路線を継続
- 不動産事業は安定収益源と位置付け、流動化を含めたパイプライン確保に注力

2030年度の連結売上高 7,000億円以上

- 物流事業の利益率（2025年度2.5%）を大幅改善すべく構造改革に取り組み中

2030年度の物流営業利益率 4.5%以上

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

2025年度上期の取り組み概況

■ M&A／PMI：期初計画通りに進捗。

- SBSNSKロジ：PL連結(１月～)
- ブラックバードロジ：株式取得(４月)、PL連結（7月～）
- **ブリヂストン物流**：株式譲渡契約（６月）、株式取得（10月予定）、PL連結（26年1月予定）

■ 物流事業：オンラインで着地。

- 想定以上の荷量減、立上げ含めた不採算事業所の存在が依然として重い。
- SBS東芝ロジなどでの、部分的な荷量回復が底支え。
- 共通KPIに基づいたグループ各社単位の構造改革継続。空床減少に効果発現。
- 昨年来からの取り組みであった料金適正化交渉が一部結実。

■ 不動産事業：安定的なパイプラインを堅持。

- 売却…野田瀬戸A棟の売却契約完了。9月、第1回目の決済を予定。
- 開発…建設工事中の「富里」に続き、6月末「霧島」の起工式を実施。
- 仕入…福岡、大阪、栃木、埼玉などで、用地仕入れ実行。

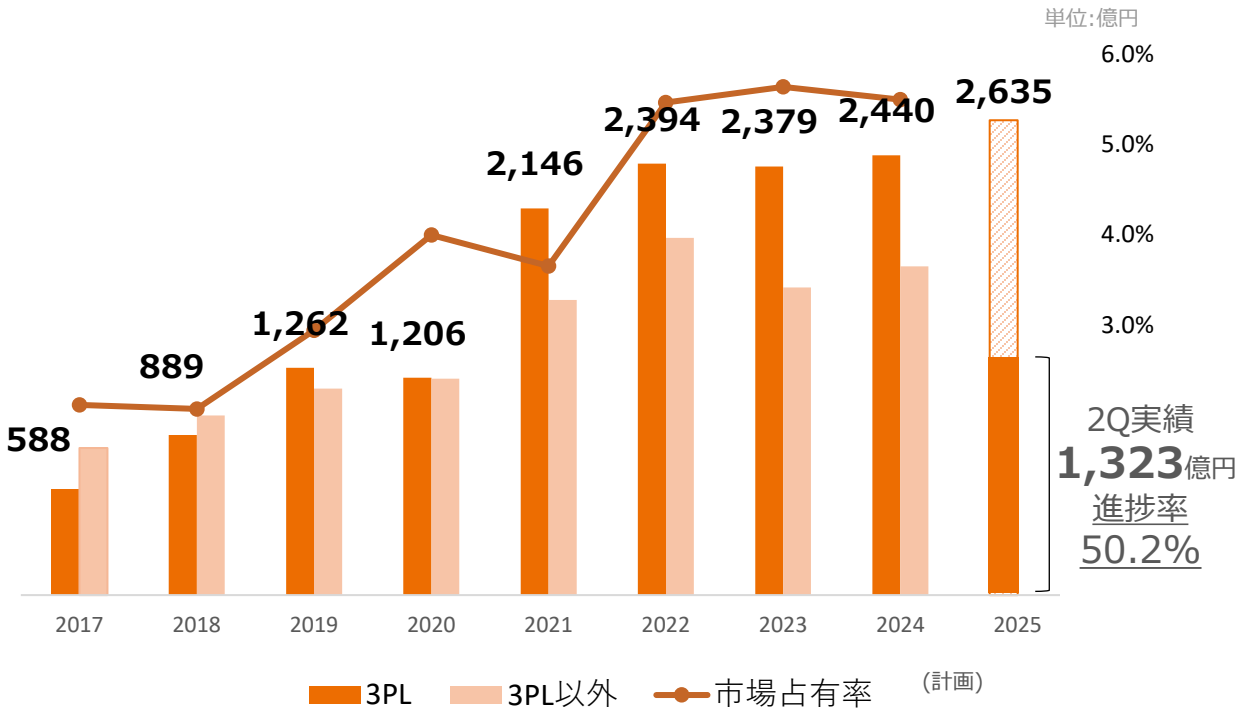
■ その他成長戦略等：中長期視点での諸施策推進。

- 外国人ドライバー採用・育成プラットフォーム構築に向けたプロジェクトの発足、推進。
- 次期中期経営計画策定に向けた議論、準備を開始。

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

成長戦略1：3PL

3PL事業売上高と市場占有率



2023，24年度実績値は、2024年度決算説明会資料記載数値を修正しております

市場占有率は、月刊「LOGI-BIZ」2023年9月号「３PL白書」のデータに基づき当社作成

2025年上期の概況

- **SBSNSKロジが大きく寄与**
  24年10月にグループ入り。25年上期はフル寄与＋82億円
- 既存事業では、事務機や音楽系パッケージソフトが低調なものの、家電や食品物流が好調に推移
- **2月 SBS東芝ロジ「東北営業所　名倉倉庫」開所**
  東北地方への広域配送のみな らず、東日本を中心とした全国配送を担うロジプラットフォームとの位置付け
- **4月 SBSフレック「阿見物流センター」新設**
  食品物流に特化した3温度帯対応の物流センター。関東一円に加え全国のサプライチェーンもカバー

2025年下期以降の展望

- **蘭ブラックバードを新規連結**
  当初計画外で＋50億円プラスの影響
- **26年度初よりブリヂストン物流を取り込み**
  年間＋520億円の増収効果

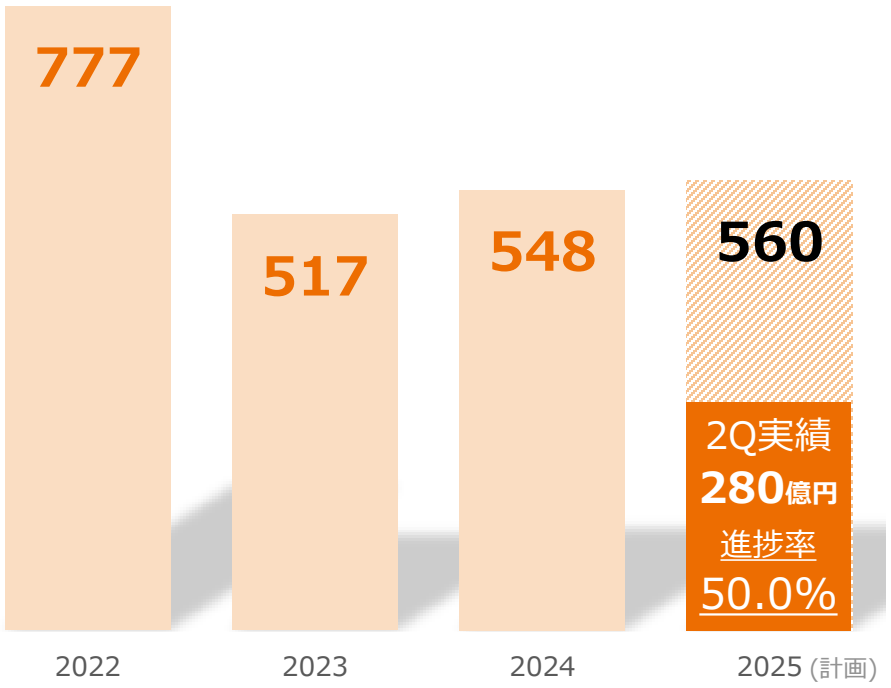
Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

成長戦略2：国際物流

売上高

単位:億円



2023，2024年度実績値は、2024年度決算説明会資料記載数値を修正しております

2025年上期の概況

- 24年度に再構築した、新しい海外事業推進の枠組み（SBS東芝ロジ、SBSリコロジをそれぞれ主軸とした2系統）の下、中国・東南アジア中心に本格展開開始
- 異常気象も背景に家電の荷動きが堅調。一方、5月の海上契約運賃改定による価格下落や米国の高関税政策による北米の物量減が足かせに

2025年下期以降の展望

- 米関税政策による不確実性は薄らぎつつあるものの引き続き地政学リスクによる下押しリスクも
- 蘭ブラックバードが下期より寄与（+50億円増収効果）
  欧州地域での3PL事業拡大に弾み
  将来的には、中国・アジアの既存事業や顧客ネットワークと融合も視野

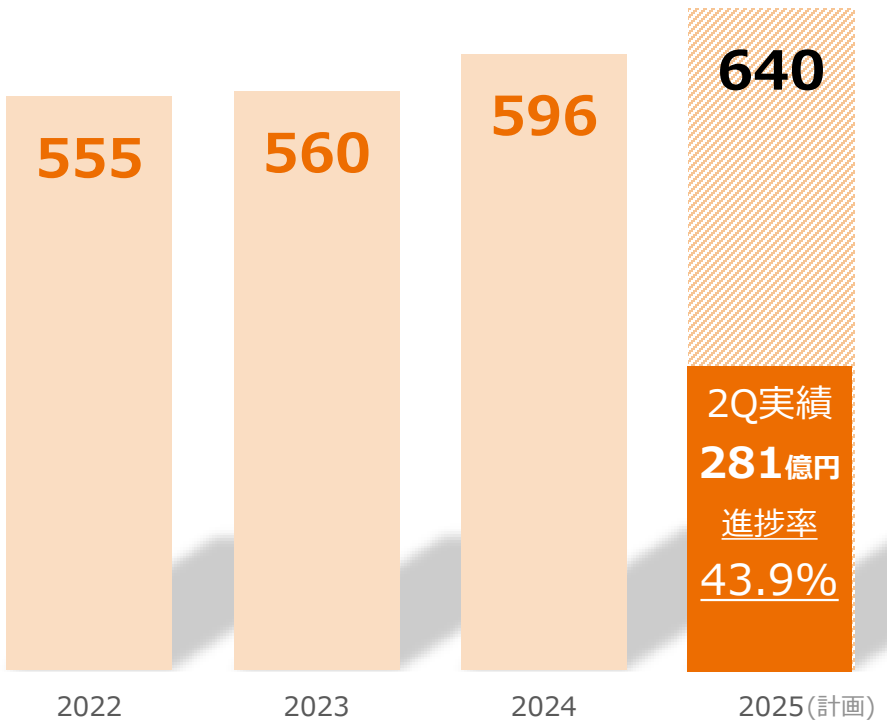
Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

成長戦略3：EC物流

売上高

単位:億円



2023，24年度実績値は、2024年度決算説明会資料記載数値を修正しております

2025年上期の概況

- ラストワンマイル事業の取り扱い減、大口取引先失注の影響を受けるも、オフィスサプライなどが好調に推移
- プラットフォーム事業については、好調な受注を受け、3月にEC戦略拠点である野田瀬戸物流センターの専用スペース5,000坪を増床
- 4月、グループ会社のマーケティングパートナーと共に、BtoB向ECサイト構築の国内最大手と業務提携

2025年下期以降の展望

- 先行投資がかさみ採算が厳しいプラットフォーム事業において、全3拠点（野田瀬戸4階、同1階、八尾）の単月営業黒字化に向けた取り組みを加速

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

構造改革の取り組み ～ 物流事業利益率のV字改善目指す

2025年度 業績見通し（現中計最終年度）

	現行中計	業績予想	増　減	達成率
売 上 高	5,000億円	4,850億円	▲150億円	97%
営業利益	275億円	205億円	▲70億円	75%

売上高の未達幅以上に利益の落ち込み大

・SBSNSKロジの新規連結効果
・海上運賃変動による影響
・半導体市況等の悪化

・市況等環境変化による影響
・新規立ち上げ拠点の不振
・売り上げ未達、コスト増

2025年度～
4つのKPIに基づき、物流事業の収益構造を改革中

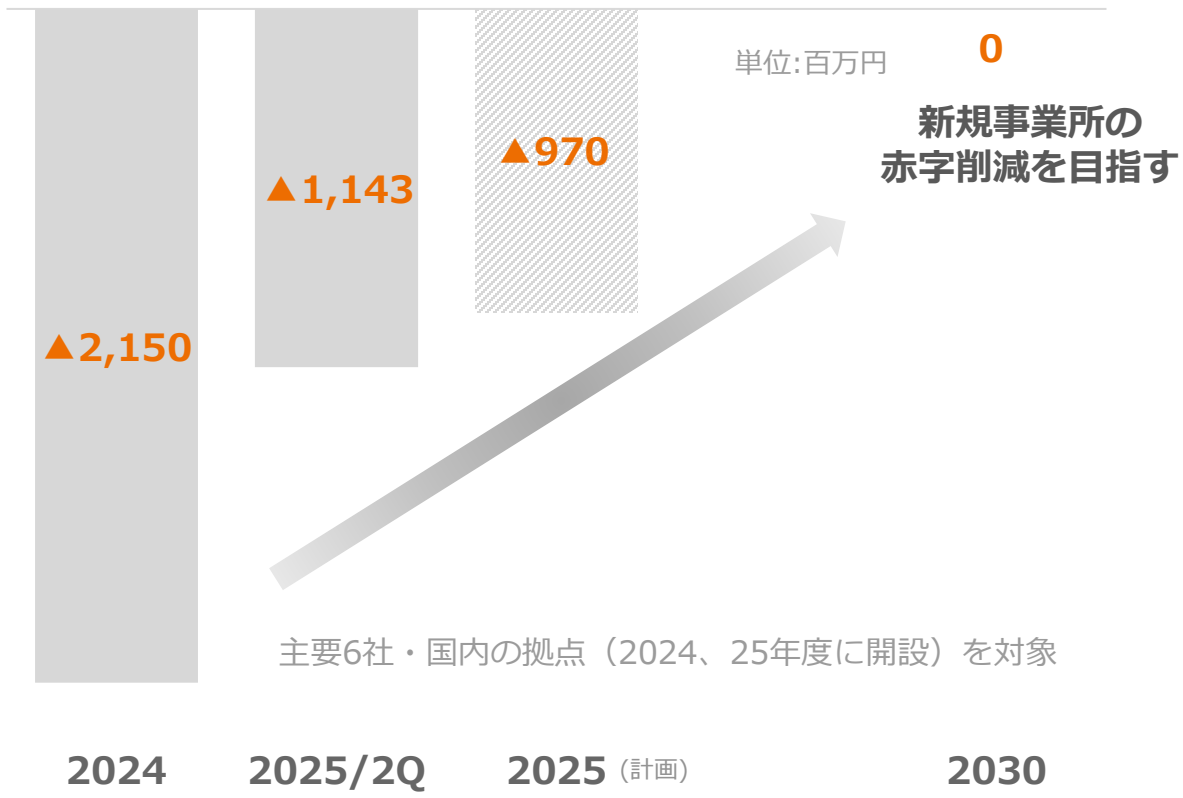
KPI（重要業績評価指標）	主　な　施　策
I. 不採算拠点・金額	赤字削減への取り組みを徹底
II. 倉庫空き坪数	空きスペース解消に向けた営業強化
III. 正社員比率・派遣社員数	人材派遣・請負を縮小、直雇用化を促進
IV. 料金適正化の推進	業界水準並みの売上総利益率を確保するべく適正化

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

構造改革1：不採算拠点の削減

新規開設した事業所の赤字金額



- **25／2Q 赤字額　1,143百万円**

  （内訳）

  前年度開設拠点　967 百万円

  当年度開設拠点　176 百万円

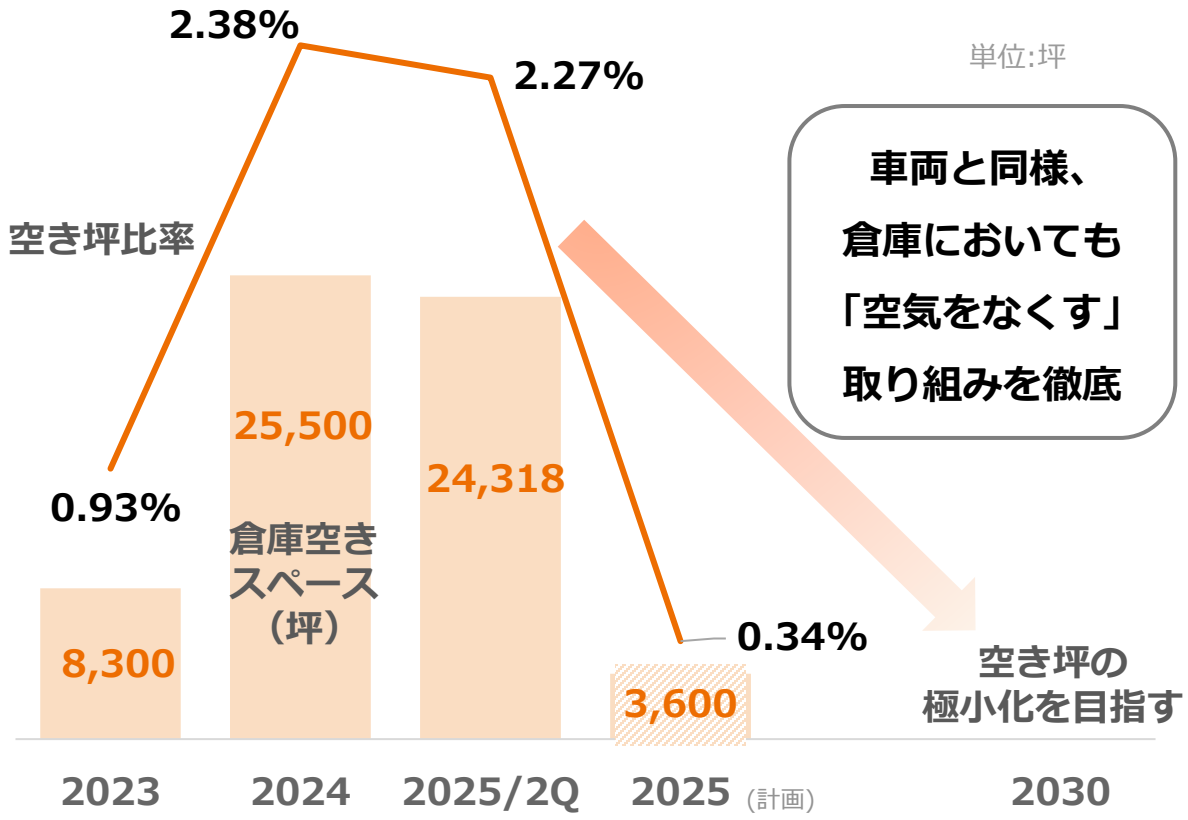
- **赤字縮小に向けた取り組み継続**
  - 自車・傭車の積載率向上
  - 倉庫の容積率の最大化
  - 価格適正化の徹底
  - 人材派遣の利用縮小

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

構造改革2： 倉庫の空き坪削減

倉庫の空き坪数



主要6社・国内の拠点を対象

- **25／2Q 空き坪数　24,318坪**
  空き坪比率　2.27%

  25/1Q（31,269坪・2.83%）に比べ空き坪数減少・同比率改善

  空き坪は、新設拠点および大口顧客の失注があった拠点が中心

- **空きスペース削減に向けた取り組みの継続**

  新規顧客の誘致や既存顧客への価値提案強化により空き坪削減を目指す

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

構造改革3・4：人員構成の最適化／料金適正化

人員構成の最適化

・物流波動への柔軟性の向上、同時に従業員の能力向上を目的として、現場の人員構成最適化に取り組む

人的資本の価値向上と
労務コストの増加抑制を共に実現

- 業務遂行にばらつきが生じがちな人材派遣・業務請負の割合を縮小する一方、直接雇用のパート・アルバイトの比率を引き上げることで、現場運営を安定化

- 物流業務に精通したベテラン正社員を、新規営業や拠点立ち上げのプロフェッショナルとして再配置。リスキリングを通じ人的価値を向上

料　金　適　正　化

・料金適正化への取り組みを継続、強化

- 人件費や原材料価格、エネルギー等のコスト上昇が続いているため、料金適正化交渉を強化
- 適切な**オペレーション改善による生産性向上、サービスの高付加価値化等**を併せて提案し、お客様と共に物流コストの削減を検討

2025/2Q 料金適正化の取り組み状況

	24/2Q 実績	25/2Q 実績
売上高影響	969百万円	2,482百万円 ↗
営業利益への影響	543百万円	1,380百万円 ↗

- 適正原価を下回る運送料金の是正を求める「トラック新法」が2028年までに施行されるのを見据え、詳細な制度設計の検討状況を注視しつつ、新法への対応に向けた体制を整備

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

主要グループ会社の成長戦略、概況

※ 数値は社内管理ベース　（億円）

主要な事業会社の業況および成長戦略		FY23 2Q累	FY24 2Q累	FY25 2Q累	FY25計画（進捗率）
ＳＢＳ東芝ロジスティクス ・家電の荷量増、重量品プロジェクトカーゴの開始に加え、料金改定効果により**増収増益**。 ・今期から、内部連携強化を企図しセクター別縦割り組織を再編。ドメイン単位の営業戦略を実行し、国内外で営業力を強化。同時に新規拠点の採算改善や料金適正化に取り組む ・売上高2,000億円が中期目標	売上高	585	569	621	1,230 (50.5%)
	営業利益	25	14	24	45 (53.3%)
		4.3%	2.5%	3.9%	3.7%
ＳＢＳリコーロジスティクス ・既存荷主の収益は堅調に推移する一方、新規荷主立上げ時の収益性が依然として不安定。派遣を多用する高コスト運営からの脱却、空き坪解消やＬＴによる生産性向上などで不採算拠点の黒字浮上を目指すが、コスト先行フェーズが続き**増収**減益 ・将来にわたり主要荷主の荷量減を見込むことから、共同配送の拡大や新規荷主の獲得に注力	売上高	524	506	528	1,089 (48.5%)
	営業利益	19	18	15	38 (39.5％)
		3.6%	3.6%	2.8%	3.5%
ＳＢＳロジコム　※賃貸不動産業績含む、物流施設流動化数値は除外 ・高い営業力を武器に新規案件獲得や既存業務が拡大するも、新規拠点の立上げコストおよび大口荷主の拠点再編影響で生じた空床が重荷となり、**増収**減益 ・SNSやHPを積極活用し、持続的成長を支えるドライバーなどの人財を確保。多様かつ優良顧客基盤を強みに、早期の1,000億円企業（売上高）達成を目指す	売上高	362	364	369	756 (48.8%)
	営業利益	30	29	26	61 (42.6%)
		8.3%	8.0%	7.0%	8.1%

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

物流事業：事業ポートフォリオ拡充（M&A実績）

- **過去の主要M&A実績（2020年以降、社名は株式取得当時）**

  東芝ロジスティクス（2020年）

  東洋運輸倉庫、旭新運輸開発、日ノ丸急送、古河物流（2021年）

  NSKロジスティックス（→ＳＢＳ ＮＳＫロジスティクス、2024年）

  自動車業界、産業機械業界での事業ポートフォリオ拡充

- **ＳＢＳ ＮＳＫロジスティクス業務拡大に向けた営業展開**

  外販売上高の増加（外販売上比率1.2%（FY2023実績）から拡大）

  （施策）

  門前倉庫（構内物流）　To. NSK工場・NSKグループ関係会社への営業展開

  調達物流　To. NSKグループ国内調達サプライヤーへの営業展開

  販売店物流　To. NSK国内関係販売店への営業展開

  グループ共同活動：ＳＢＳ古河物流と共同輸送実施（2025年1月～）

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

物流事業：事業ポートフォリオ拡充（M&A実績）

2025年年度 M&A実績（株式取得順）

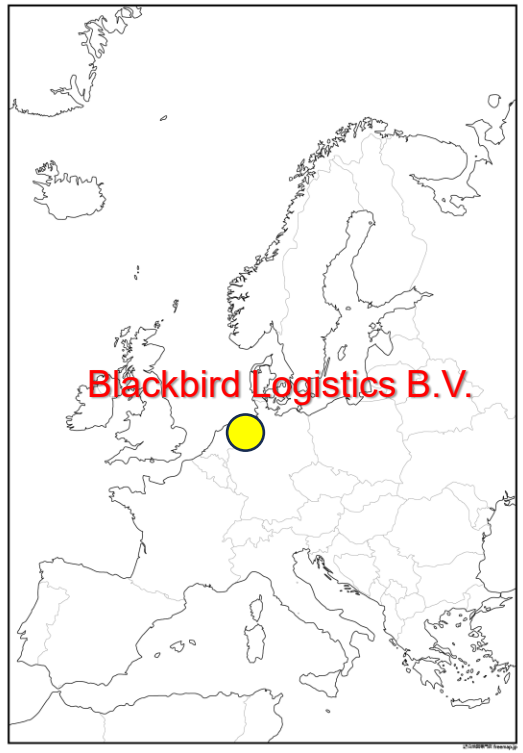
2月　PT TANGGUH JAYA PRATAMA（インドネシア） 77.0%

・成長著しいインドネシア市場において、実績ある地元企業と協業



4月　Blackbird Logistics B.V.（オランダ） 80.0%

・欧州全域でのビジネス拡大を視野に橋頭堡を確保



10月（予定）　ブリヂストン物流（日本） 66.6%

・タイヤ物流へ進出
・BSグループのブランド力・ネットワーク力を生かしたソリューション提供
　⇒ＳＢＳグループ全体の総合力を強化

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

物流施設開発パイプライン進捗

■ 流動化

- **3月：仙台倉庫**（SBSフレック旧仙台センター）
  譲 渡 益：11億円
- **9月：野田瀬戸A棟（35%）**
  譲渡益(見込)：74億円
  現　　況：ＳＢＳグループ３ＰＬ拠点
  今後の予定：3回に分け譲渡予定。26年1月（40%）、27年1月（25%）



■ 建設中

- **富里物流センター(仮称)**
  所 在 地：千葉県富里市七栄
  賃貸面積：100,473㎡（30,393坪）
  工　　期：2024年8月～2026年8月
  用　　途：SBSグループ３ＰＬ拠点
- **BC霧島(仮称)**
  所 在 地：鹿児島県霧島市
  賃貸面積：5,920㎡（1,790坪）
  工　　期：2025年8月～2026年3月
  用　　途：SBSリコーロジスティクス荷主様専用センター





Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

サステナブルトピックス

中古トラックEV化プロジェクトが本稼働

環境

EV転換トラック量産・量販予定車、車両ナンバーを取得
/ＳＢＳホールディングス(4月)

・SBSゼンツウの都内2拠点に2台を配備
　生協向けの給食配送に投入予定
・2030年に1000台程度の中・小型車両をEV化予定
　（他社と共同研究・実証実験）



物流視点で製品梱包設計を荷主提案

環境

物流環境大賞で4年連続の受賞
/ＳＢＳ東芝ロジスティクス(6月)

・医療装置部品の梱包材を見直し、
　独自開発の段ボールホルダーを
　採用することで緩衝材を完全廃止
・物流視点でサプライチェーン
　全体の最適化に寄与
　▶CO2排出量を60％削減

包装内部写真



人的資本経営が評価

人財

JPX日経インデックス人的資本100に選定
/ＳＢＳホールディングス(5月)

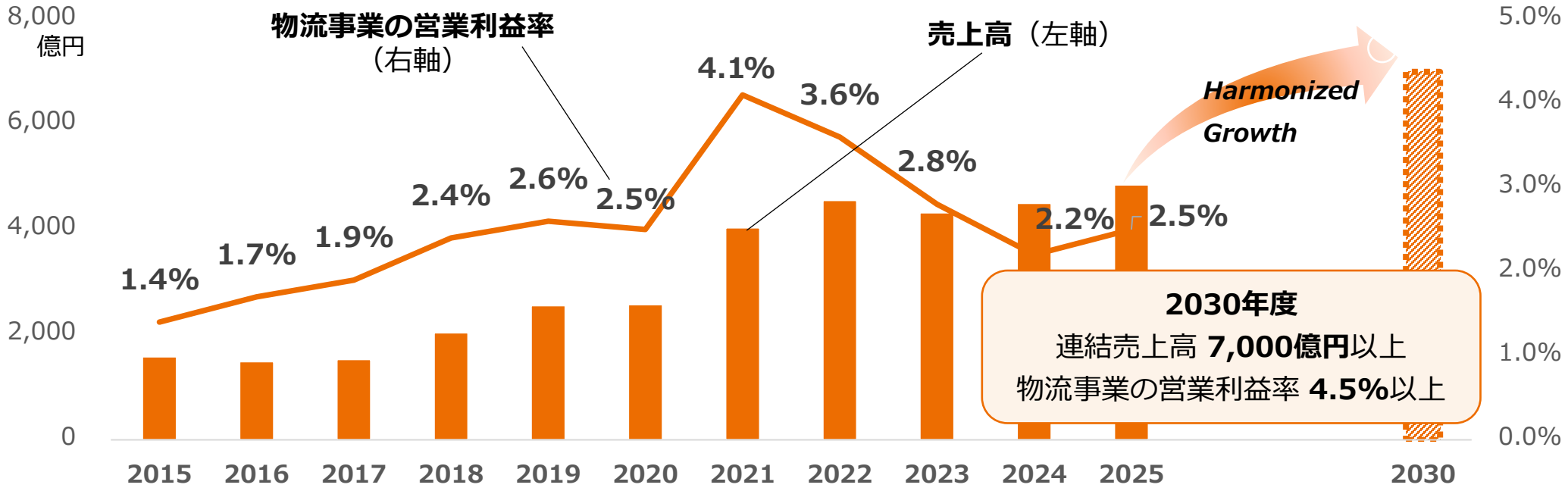
※JPX日経インデックス人的資本100
‥独ESG book の試算方法をベースに総合人的資本スコアを計算し、JPX日経インデックス 400成銘柄の上位 100 銘柄を選出

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

新中期経営計画の策定について（現在検討中）

現中期経営計画		新中計の構想案
次の成長ステージ”Next Stage”へ （売上高）5000億円カンパニー	基本コンセプト	“Harmonized Growth” （利益を伴う）均整のとれた成長
2023～25年度の3カ年	対象期間	2026～30年度の5カ年
3PL・国際・ECの3本柱で成長	成長戦略	中核3事業での自律成長＋M&A
成長のための基盤整備（輸配送NW、倉庫、DX、管理部門）に注力	その他重点施策	利益率に重心を置き構造改革を徹底



Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

01 2025年度第2四半期（中間期） 連結業績概要

02 2025年度 連結業績予想

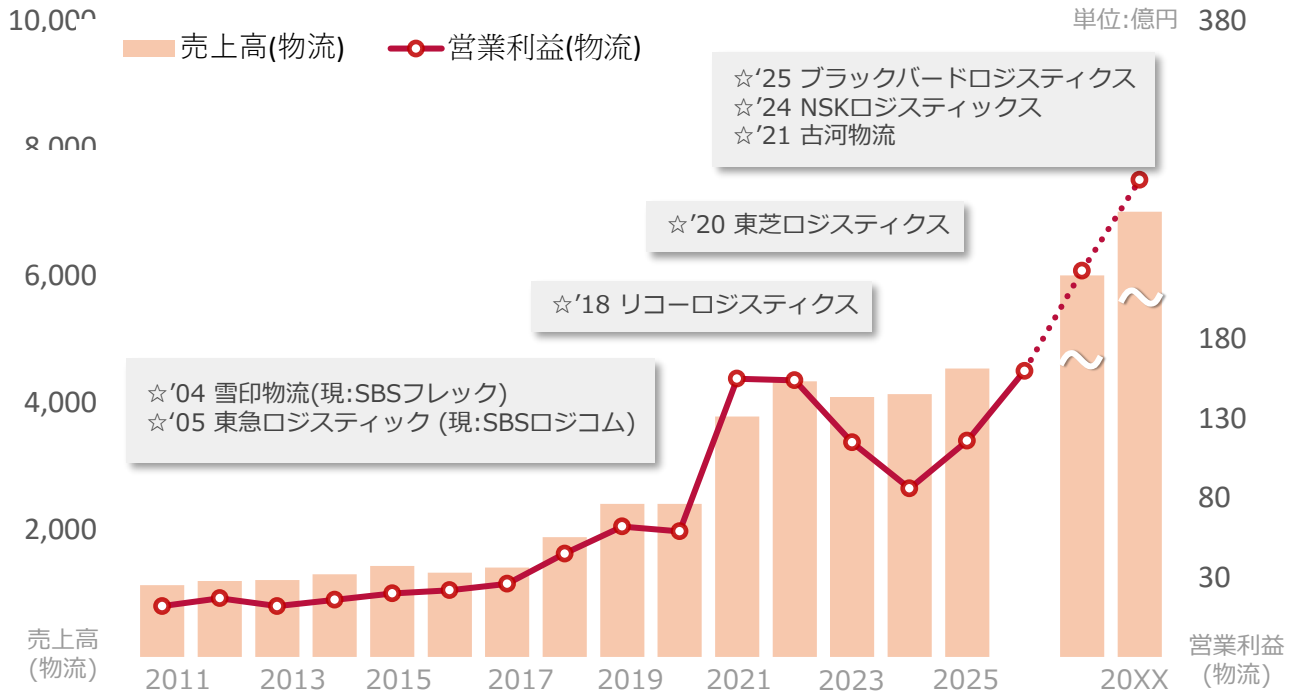
03 SBSグループの成長戦略

04 Appendix

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

期待成長率の向上：インオーガニック成長



【物流ポートフォリオの多角化・拡充】

- ●食品物流
- ●小売物流
- ●法人移転
- ●館内物流
- ●企業宅配（首都圏）

＋

- ●調達生産物流
- ●精密機器、電子部品
- ●事務機器
- ●EC
- ●フォワーディング
- ●企業宅配(全国)

＋

- ●国際複合一貫輸送
- ●プラント機器
- ●電子デバイス機器
- ●家電、住設、昇降機
- ●産業用ケーブル
- ●ベアリング　●４PL

M&Aを通じ比類なき成長を実現

- **物流ポートフォリオの多角化・拡充**
- **スケールメリット創出**
- **ナショナルブランド企業の物流機能取り込み**

↓

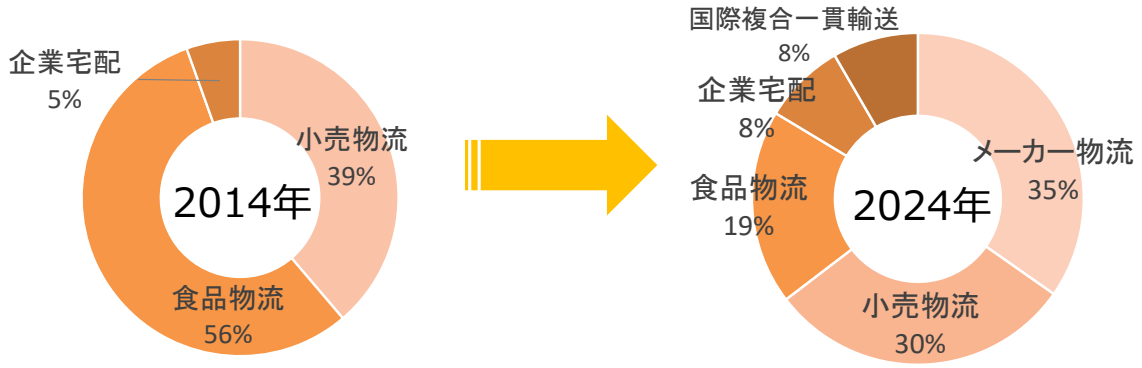
優良荷主および優れた人材獲得

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

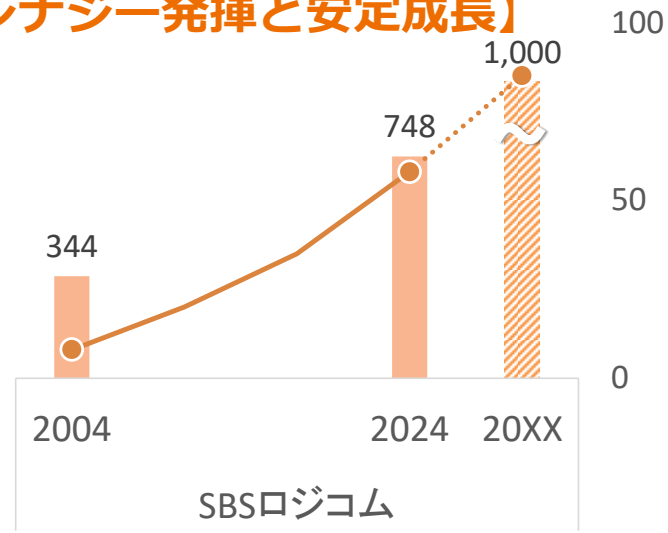
期待成長率の向上：安定的かつ持続的なオーガニック成長

【物流ポートフォリオの多角化】



- **物流×不動産のシナジー発揮**
  - 倉庫の自社開発プロジェクトを通じ、グループ各社が既存拡大や新規営業を推進
  - 安定した流動化利益が、物流事業を補完
- **物流ポートフォリオの拡充による安定成長**
  - toB／toC、内需／外需、国内／海外など事業領域の多様化が進展することで、景気サイクルや特定荷主に起因する物量の増減を吸収
  - 新たなグループ企業の参画により、既存グループ企業にも安定成長基盤に厚みが増す

【シナジー発揮と安定成長】

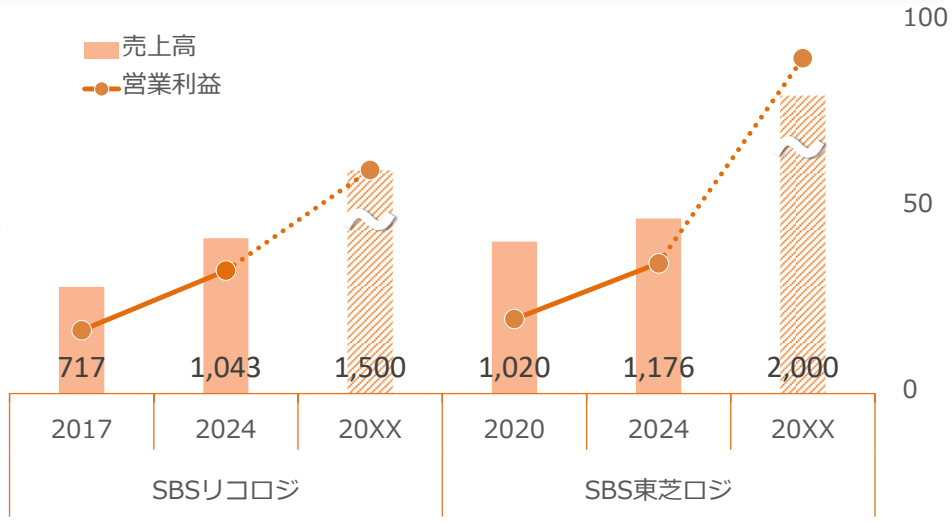


20年前にグループ入りしたSBSロジコムが、飛躍的な成長を実現。

・売上高：**2**倍

・営業利益：**7**倍

新たにグループ入りした企業のモデルとして、営業開発や現場運営ノウハウ等を移植。



Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

３ＰＬ運営面積推移

時期	種別	稼働時期	名称	運営/開発	運営面積(坪)	運営面積(㎡)
	～2023年12月末				**968,200**	**3,200,656**
	自社開発	2月	野田瀬戸物流センターA棟	SBSリコロジ、SBSロジコム、SBSHD	43,800	144,793
	借庫	5月	柏沼南倉庫	SBS東芝ロジ	8,706	28,780
		5月	戸塚倉庫	SBS東芝ロジ	5,223	17,266
		6月	滋賀湖南支店	SBSロジコム	13,326	44,053
		8月	物流センター横浜福浦	SBSリコロジ	17,167	56,750
		9月	厚木低温ＤＣ	SBSフレック	4,300	14,215
		10月	BC川崎高津	SBSリコロジ	3,042	10,056
		11月	物流センター八尾(仮称)	SBSリコロジ	7,991	26,416
		その他	(3,000坪未満の増床および解約分)	SBSG	13,718	45,349
	2024年度実績				**117,273**	**387,679**
運営面積（2024年12月末）			＊1		**1,085,473**	**3,588,335**
	借庫	1月	(M&A連結)	SBSNSKロジ	7,166	23,689
		3月	南港第一支店	SBSロジコム	3,140	10,380
		3月	川崎南支店	SBSロジコム	10,000	33,058
		4月	(M&A連結)	ブラックバード　＊3	31,157	103,000
		4月	北関東支店（名取倉庫）	SBS東芝ロジ	3,548	11,729
		4月	BC熊本（仮称）	SBSリコロジ	3,133	10,357
		その他	(3,000坪未満の増床および解約分)	SBSG	2,221	7,342
	2025年開設計画				**60,365**	**199,553**
	自社開発	2026年8月	富里物流センター(仮称)	エルマックス	30,393	100,473
		2026年3月	**BC霧島**	**エルマックス**	**1,790**	**5,920**
	開発用地＊2	開発計画中	野田瀬戸B棟	SBSアセマネ	34,000	112,397
			所沢土地A/B	SBSロジコム,SBS即配サポ	11,000	36,364
			横芝光町土地	SBSロジコム	60,000	198,347
			かすみがうら土地	SBSロジコム	20,000	66,116
			筑紫野	エルマックス	28,000	92,562
			那須	エルマックス	10,000	33,058
			(小規模用地)	SBSG	600	1,983
	2026年度以降開設計画（パイプライン在庫）				**171,243**	**566,092**
潜在運営面積（実績＋計画）					**1,317,081**	**4,353,980**

*1：運営面積…物流事業を運営するための有効面積（建築基準法上の延床面積とは異なります）
*2：開発用地…個別明細の面積は、建築基準法の延床面積（概算）を記載。合計面積は、個別明細の延床面積合計から、運営面積として見込む面積(延床面積のおよそ85%程度）を記載。
*3：ブラックバード社の運営面積には、自社保有倉庫8,470坪（28,000㎡）を含みます。

■ 24年度：11.7万坪増床

- 大型拠点開発が重なり、例年の2倍強となる11.7万坪超の増床を実施

■ 25年度：６万坪の増床計画

- 前年度の積み残しとなる空床解消に注力しながら、新規案件と既存拡大分の増床を適宜継続
- 新規連結2社の増床は3.8万坪を見込む
- 7月、SBSリコーロジスティクスの荷主様専用センターとして鹿児島県霧島市に用地を取得し7月末起工済

■ 26年度以降：潜在運営面積約16万坪分の用地取得済

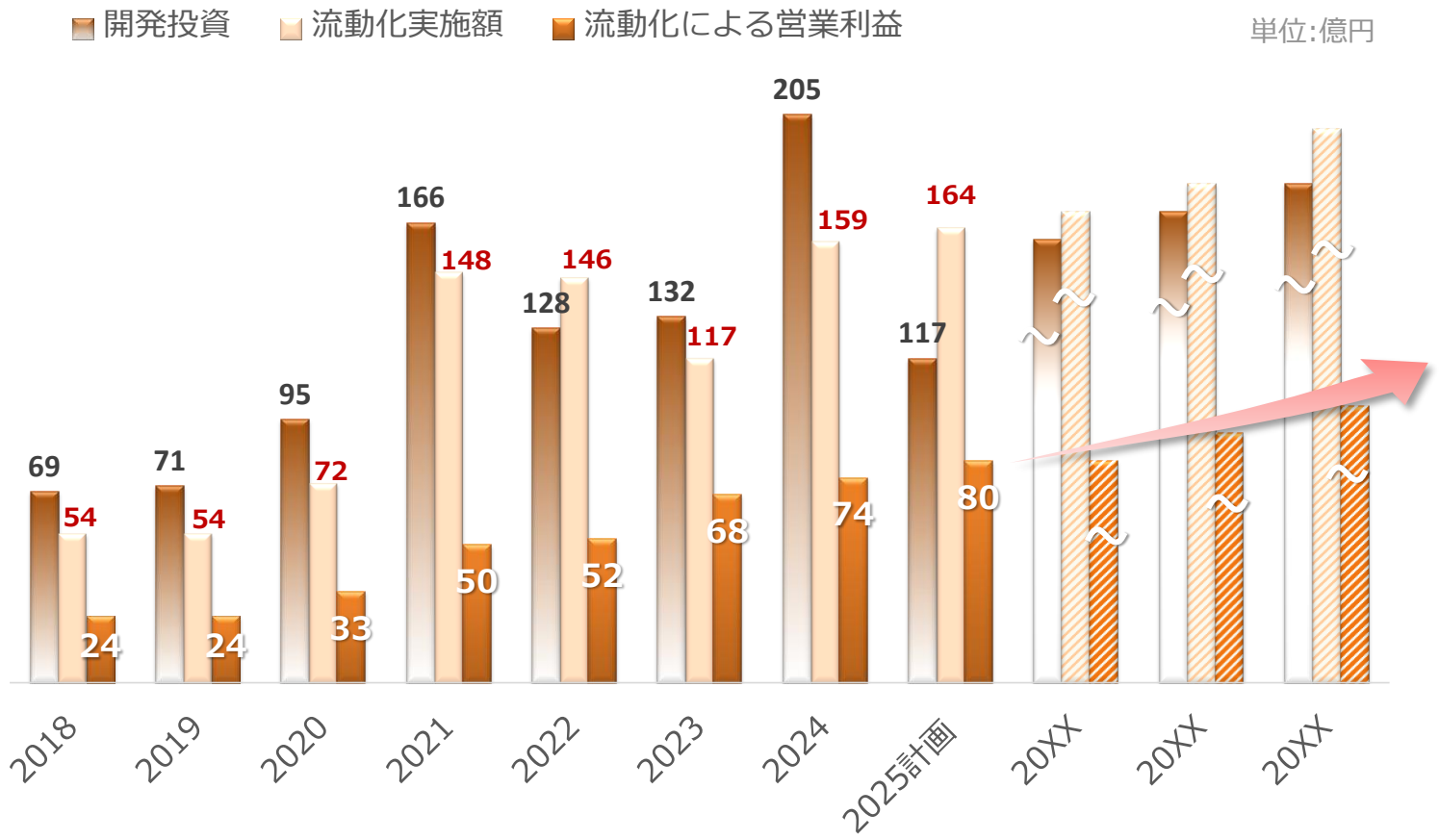
- 安定したパイプラインの維持のために用地取得を厳選し継続
- 対象エリアは関東～関西から九州、東北、北海道まで拡大

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

不動産事業：継続的な不動産開発投資の継続と安定した流動化の実施

- 積極的な用地取得と計画的な建築投資により、将来にわたり充実したパイプラインを確保
- 投資・開発規模の大型化に伴い、流動化規模も拡大傾向。安定した流動化利益を実現



■ 高い投資効果

➢ 物流事業者のライセンスと知見を活かし、開発コストを抑制することで、投資効果を最大化

✓ 安定した流動化

➢ 長期一括のリースバック契約を前提とし、魅力ある投資物件として幅広い投資家へ訴求

■ 充実したパイプライン

➢ 用地の仕入対象地域を全国規模に拡大。強力な営業力でリアルな荷主ニーズとマッチングしながら開発計画を推進

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

ESG/サステナブル経営：環境・安全対応、人的資本

重要課題（マテリアリティ）への対応とガバナンスを強化

SBSグループ3カ年経営計画「SBS Next Stage 2025」において
重要課題（マテリアリティ）である「安全」「環境」「人財」への対応と
サステナビリティ経営を支えるガバナンスの強化を掲げ
経営戦略とサステナビリティの統合を図っています



マテリアリティ 環境

■ 環境負荷低減へモーダルシフトを推進

鉄道貨物輸送の促進と車両有効活用を両立

・SBSロジコムがJRコンテナに対応したスワップボディ車両を導入
・1台のトラックで一般貨物輸送とJR鉄道コンテナ輸送への対応が可能となり
鉄道貨物輸送による環境負荷低減と車両の有効活用が実現
▶26年３月に２台目の車両導入を予定



内航船舶輸送量が拡大

・環境負荷低減とドライバー不足への対応として内航フェリー・貨物船の利用を促進
▶24年度の内航船舶輸送量は23年度比で約3.5倍に増加

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

ESG/サステナブル経営：環境・安全対応、人的資本

マテリアリティ　人財

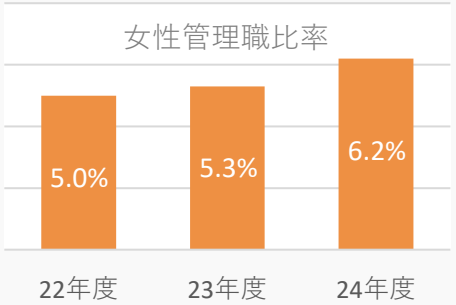
■ 人財育成プログラムが成熟

次世代経営層の育成を継続

・次世代経営層・次世代リーダー層の育成プログラムを策定
　▶現在、第３期が進行中。累計修了者は約160名超
・若手リーダー層向けのプログラムも計画中

グループで女性活躍を推進

・「女性活躍のためのキャリアデザイン研修」を開始
　▶24年10月から実施、25年度は第2期を予定



※各年度12月末時点の実績

■ 多様な働き方を促進

DEI推進プロジェクトが始動

・SBSグループ全体で多様な働き方の促進を図り、
　「DEI推進インタビュー」をスタート
　▶24年7月～25年7月で累計34人に取材
・25年度はインタビューの継続拡大に加えて、
　8月下旬に座談会「第1回DEI TALK」を開催予定

※DEI
　‥Diversity(多様性),Equity(公平性),Inclusion(包括性)

マテリアリティ　安全

■ ドライバーの安全・健康管理を徹底

点呼の励行、各社事業所の見回りを強化

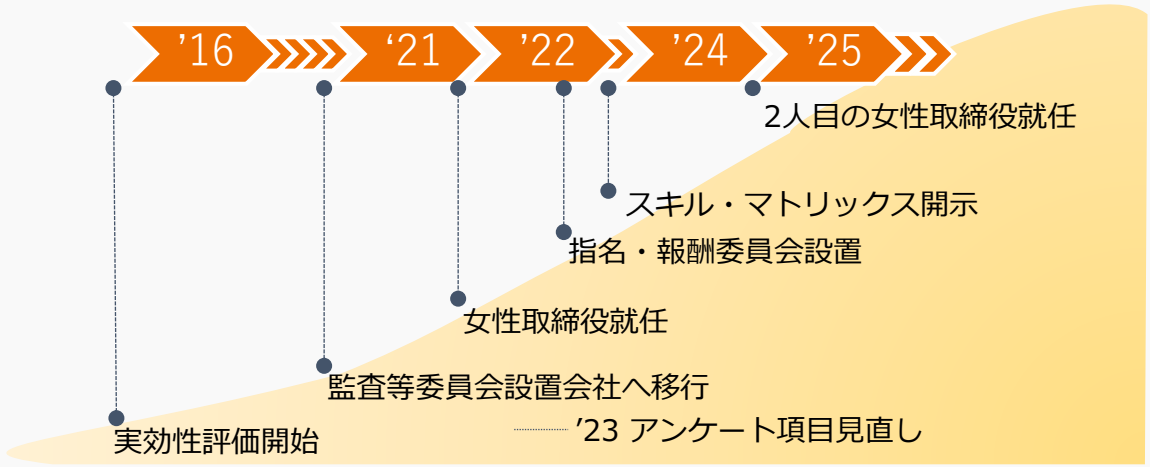
・SBSホールディングスおよび各事業会社の担当者が点呼状況の定期的な見回りを実施
・ドライバーのアルコールチェックや健康状態に関する全ての記録を保存

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

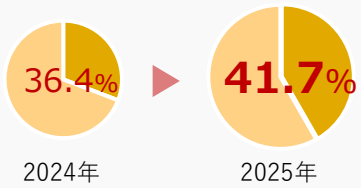
SBS ホールディングス

ESG/サステナブル経営：ガバナンス･コンプライアンス強化

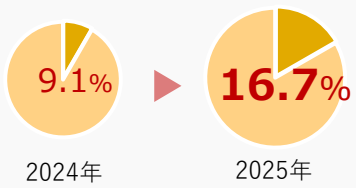
■ ガバナンス強化のあゆみ



■ 社外取締役比率



■ 女性取締役比率

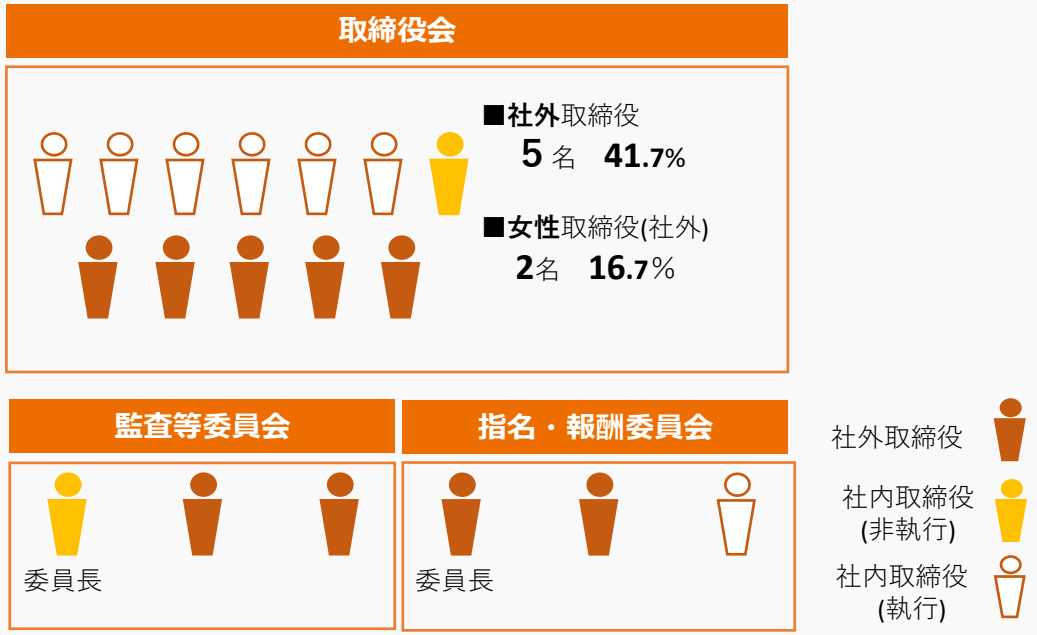


■ 取締役会実効性評価ポイントの推移

2022	2023	2024
3.95	4.05(+0.01)	4.06(+0.01)

■ ガバナンス体制図

2021年監査等委員会設置会社へ移行以降
ガバナンス体制の拡充に注力



■ コンプライアンス強化

内部通報担当者連絡会 定期開催(4回/年) 2025年1月～

内部通報窓口運用の浸透
グループ会社間での情報共有･円滑な意思疎通 etc.

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

開示の充実と投資家との対話促進

■ 投資家との対話実績

対話・開示の機会	実績/年	活動状況
決算説明会	2回	✓ 第2・4四半期決算時に代表取締役び財務担当役員から説明
スモールミーティング	2～3回	✓ 半期毎に約1回、代表取締役および財務担当役員が出席する、スモールミーティングを開催 (アナリスト、機関投資家が参加)
個別面談 （うち、経営メンバー対応）	110～140件 （10～20回）	✓ **IR担当者は、原則すべてのリクエストに対応** ✓ 要請に応じ経営メンバーがスピーカーとして経営戦略にかかる対話を実施
面談日程の公開	随時	✓“みんせつ”にて公開
現場見学会	0～3回	✓ 新規取組がある現場等で見学会を実施。不定期開催。
レポート発行	6回＋随時	✓シェアードリサーチ社：四半期ごとの更新に加え適時開示の際に随時更新。 ✓フィスコ社：年2回（3月、9月）IRレポートを発行
IRポータルサイト	随時	✓ Finantec社「IRStreet」へ最新情報を掲載
株主様向け情報発信	定期	✓ビジネスレポート（3月）、統合報告書（9月）、HP定期更新（２～3月）

■ 経営へのフィードバック

開示資料への反映	・経営層参加型IRミーティングを定期開催 ・アナリスト・投資家の反応を経営層・施策立案部署へ報告 etc.
経営層との共有	・資本コスト・資本収益性を開示 ・PBR・ROE・PERの目標設定など、開示情報を拡充

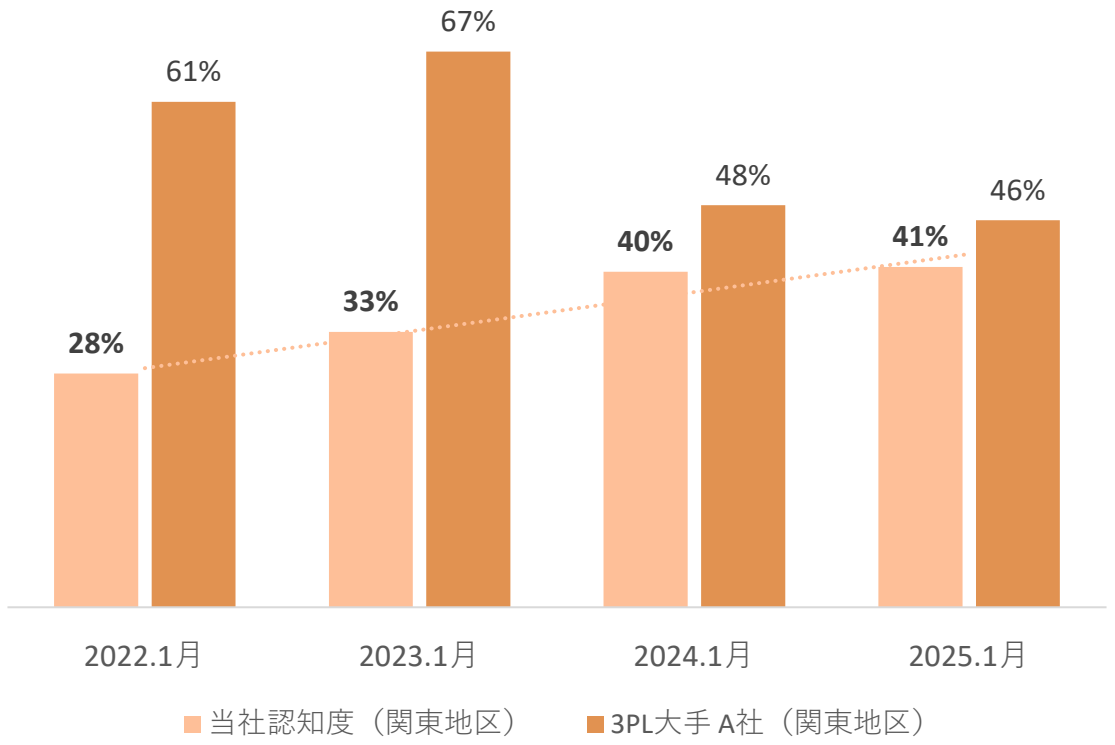
Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

企業認知の向上：ブランド浸透活動

- **テレビCMはじめ、SBSブランドの浸透活動を実施**
  ⇒ 企業認知度は着実に上昇

企業認知度の推移（LINEリサーチによる調査結果）



「3PLの企業として知っているのはどこか」との設問に対し、主要4社を提示した助成想起による回答結果
対象：30-50代男女・係長主任クラス以上・「基幹系システム」「物流・倉庫関連」の選定に関わる人
（n=500）

コーポレートブランド浸透

- 経済系・海外系メディアの記事増加
  （ex. 日経新聞掲載件数　FY19 2件 ⇒ FY24 14件）
- ドライバー採用活動強化
  --グループ会社で採用SNS
- プロスポーツ支援
  --プロゴルフ
  --ラグビーリーグワン
  --サッカーJリーグ
  --女子サッカーなでしこ1部　など

サービスブランド浸透

- 「EC物流お任せくん」　2022年～
- 「エコメルカリ便」「SBS Ecoロジ便」2024年～
- 上記をプロモートするテレビCM放映
  （2022年～タレント起用）

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス